

第 12 回歴史都市防災シンポジウム

日 時：2018 年 7 月 14 日（土）10:30～18:00（10:00～ 受付開始）

場 所：立命館大学 衣笠キャンパス 敬学館

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1

<http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/kinugasa/>

駐車・駐輪スペースがございませんので、公共交通機関をご利用ください。

主 催：立命館大学 歴史都市防災研究所

参 加 費：無料 ※ただし、意見交流会は会費制となります。

事前申込：不要

プログラム：

	A 会場（KG208）	B 会場（KG108）	C 会場（KG009）
10:30～11:50	A1. 防災技術（1）	B1. 歴史・地理	C1. 防災計画（1）
13:00～14:20	A2. 防災技術（2）	B2. 観光客	C2. 防災計画（2）
14:35～16:05	特別講演（A 会場 KG208） 「黒潮町の言葉を通して防災とまちづくりについて考える」 矢守 克也 氏（京都大学防災研究所 教授）		
16:20～18:00	A3. 防災技術（3）	B3. 火災・防火	C3. 防災計画（3）
18:15～19:45	意見交流会（会費制：一般 2,000 円，学生 1,000 円）		



本シンポジウムは、土木学会継続教育認定プログラム（JSCE18-0632）です。
建設系 CPD 協議会のホームページにも掲載されており、日本建築学会など各
種団体で相互承認可能な場合がありますので、ご確認下さい。

<http://www.cpd-ccesa.org/>



【A 会場】

A1. 防災技術（１） 10:30～11:50

座長：吉富信太

1. 【論文】限界耐力計算を用いた茅葺古民家の耐震性能評価及び耐震補強計画案に関する考察
富田直樹，森拓郎，田中圭，清水秀丸
2. 【論文】土塗り壁の耐力を用いた土塗り小壁の骨格曲線評価
山田耕司，中治弘行，長瀬正，鈴木祥之
3. 【論文】垂れ壁と腰壁で分割された無開口土塗り壁の復元力特性
中治弘行，鈴木祥之，長瀬正

A2. 防災技術（２） 13:00～14:20

座長：檀上徹

4. 【論文】柱脚浮き上がりを許容した壁を含む架構の水平耐力
山田耕司
5. 【論文】壁土の改良方法に関する基礎研究
須田達，鈴木祥之
6. 【論文】平成 29 年 7 月九州北部豪雨に伴う朝倉市内における文化財被害および斜面崩壊に起因する地質・地形・降雨量の空間分析
檀上徹，石澤友浩
7. 【報告】地盤環境に配慮した歴史的建造物の基礎補強対策工に関する提案
原田紹臣，藤本将光，里深好文，小西成治，疋田信晴

A3. 防災技術（３） 16:20～18:00

座長：鈴木祥之

8. 【論文】2016 年熊本地震における伝統構法木造建物の 3 次元地震応答解析
井下央章，村田晶，宮島昌克
9. 【論文】2016 年熊本地震における熊本城内の石垣被害および崩壊挙動解析
恒川怜央，池本敏和，宮島昌克，橋本隆雄
10. 【論文】ネパール・ゴルカ地震によるパタン Jhatapol 地区の歴史的組積造建物群の被災度分析
古川愛子，花房陸斗，清野純史，R. R. Parajuli，H. R. Parajuli，土岐憲三
11. 【報告】ネパール・ゴルカ地震によるバクタプル歴史的煉瓦造住宅建築の被害状況と常時微動性状に関する調査研究
竹内雅人，星野隼人，向井洋一，山本直彦，増井正哉，宮内杏里
12. 【論文】イラン・聖ステファノス修道院における建造物及び表層地盤の動特性評価
池本敏和，A. H. Fallahi，山口謙太郎，宮島昌克，吉田雅穂

【B 会場】

B1. 歴史・地理 10:30～11:50

座長：河角直美

13. 【論文】大阪府の「式内社」の立地傾向と災害危険性から見た古代の神観念

栗原拓大，青柳憲昌，石田優子

14. 【報告】寛文十年（1670）、大坂を襲った高潮災害

長尾武

15. 【論文】関東大震災における地震火災と防火体制

森下雄治

16. 【論文】全国社寺調査からみた文化財保有社寺における獣害

米島万有子，中谷友樹，崔明姫

B2. 観光客 13:00～14:20

座長：青柳憲昌

17. 【論文】松山城における非合理的避難の割合と被害の推移に関する研究 — マルチエージェントを用いた避難シミュレーション —

中島昌暉，山田悟史

18. 【論文】重要文化財・道後温泉本館の改修へ向けた公衆浴場の避難計画に関する研究

大窪健之，鷲尾龍之介，金度源，林倫子

19. 【論文】観光客の防災意識に影響する要因に関する研究 — 世界遺産姫路城を事例に —

酒井宏平，豊田祐輔，鐘ヶ江秀彦

20. 【論文】団体客を考慮した歴史都市における観光客の避難場所と避難経路に関する研究

小川圭一，安隆浩

B3. 火災・防火 16:20～18:00

座長：大窪健之

21. 【論文】地震火災時の文化財建造物に対する防火対策検討プロセスの開発 — 東福寺及び周辺地区を事例として —

荒川昭治，加村大輔，中畑摩耶，大窪健之，金度源

22. 【論文】福島県西会津町奥川流域における中門造民家の残存状況及び防火性能に関する現状調査

平尾和洋，小池潤

23. 【論文】山梨県早川流域における兜造り民家の残存および防火意匠の現状調査

遠藤直久，小林和敬，平尾和洋

24. 【報告】四川省綿竹市霊官楼木塔火災の被害調査

劉弘涛，江俊涛

【C 会場】

C1. 防災計画（１） 10:30～11:50

座長：武田史朗

25. 【報告】3 項道路指定における地域住民等の役割に関する研究

小池貴大，岡井有佳，加藤仁美

26. 【論文】京都市西陣地区の事前復興計画を想定した建築物の類型化およびその評価と防災型復興住宅モデルの提案

平尾和洋，石川一平

27. 【論文】密集市街地における街並み誘導型地区計画の効果と課題に関する研究 ―神戸市長田区野田北部地区を対象として―

山際大貴，岡井有佳

28. 【報告】Study on the Disaster Prevention Countermeasures about Historic Blocks in China -Taking A Yi Dun District of Yi Ning in Xingjiang Province as the Example

甘秋林，劉弘涛

C2. 防災計画（２） 13:00～14:20

座長：金度源

29. 【論文】避難所設備の評価に基づく寺院・公益施設の活用可能性に関する研究 ～福井県若狭町熊川宿重伝建地区を対象として～

福永靖史，大窪健之，金度源

30. 【報告】重伝建地区における防災訓練の実施とその改善方針の提案 ～島根県津和野重伝建地区を対象として～

中林秀光，大窪健之，金度源

31. 【論文】A Spatial Study on Risk Analysis of Disasters Caused by Natural Hazards to Cultural Heritage in Indonesia

Kartika Puspita Sari

32. 【報告】Blue Shield Australia and the Protection of Cultural Property in the Event of Armed Conflict and Natural Disasters

Dr Tanya L. Park

C3. 防災計画（３） 16:20～18:00

座長：小川圭一

33. 【論文】被災後の町の復興を支える神輿渡御 ―宮城県南三陸町保呂羽神社の春祭り―

谷端郷，板谷直子（牛谷直子），中谷友樹

34. 【報告】歴史都市における大規模震災を想定した被災後情報共有システムモデルの枠組みの検討

清水泰有，Quirino Crosta，Micaela Merucuri，留野僚也，小野聡，

鐘ヶ江秀彦，Paola Rizzi

35. 【報告】歴史都市における災害対策の研究項目に関する調査 ―『文化遺産防災ハンドブック』の改訂を目指して―

山口奨，金度源

36. 【報告】災害文化遺産の展示手法と防災教育への活用 ―禹王遺跡展の事例から―

大邑潤三，片山正彦，谷端郷

37. 【報告】『災害文化遺産 日本の禹王遺跡と治水神・禹王信仰展』の目的とその意義

植村善博